

出島付近の歴史的石積護岸の整備④

歴史的・文化的価値を保全するために

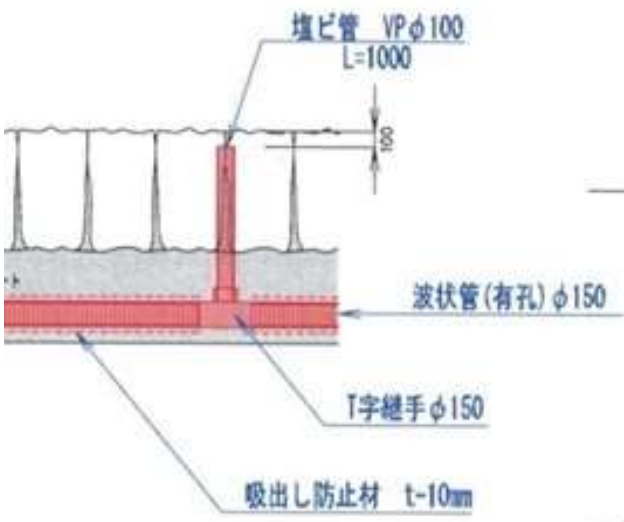
⑥ 水抜きパイプの工夫

護岸の改良にあたっては、石材の裏にコンクリートを打設する（練石積）護岸とするため、護岸背後の地盤からの排水のための水抜きパイプの設置を行う必要がありました。

しかし、水抜きパイプが石積みの表に出てきては景観を損なうため、表から見えないように水抜きパイプは石材と石材の継ぎ目（合端）の奥に設置しました。また、石材裏に打設するコンクリートやコンクリート構造物に必要な目地材についても石積みの表から見えないよう工夫がなされました。



（水抜きパイプ設置箇所の石積み表面）



（護岸構造図、上から見た図）

○の箇所、石材の継目の奥に設置しているので表からはパイプは見えない。

工事の完成

以上のような、工夫や議論を重ねながら工事を行い中島川変流部護岸の改修工事は平成 2 9 年に完成しました。

中島川変流部護岸は第 1 次長崎港改修事業の唯一の遺構であり貴重な土木遺産であるとの評価を受け「平成 2 9 年土木学会選奨土木遺産」に認定されました。



（改修工事完了後の石積み護岸）



（出島と出島表門橋）

改修護岸の対岸に出島へは、同時期に出島表門橋の架橋も行われました。